たうん とぴっくす TOWN TOPICS

まちの話題や出来事を紹介します

今月の1枚



飯梨地区の魅力を発信する「田舎のお福分け～いいな飯梨のおいもまつり～」が開かれました。地域の新たな特産品であるサツマイモを主役に、商品の販売や芋掘り、タイムレースなどが行われ、会場は多くの人でにぎわいました。　10月11日：さぎの湯公園周辺

市長日記

尼子フェスティバルへ出陣！

令和10年度に開催する「第９回尼子一族全国大集会・戦国尼子フェスティバル」に向け、10月18日、三日月公園周辺でプレイベントを開催しました。

尼子十勇士や薙刀隊、尼子十旗（じっき）の皆さんによる勇壮な武者行列が行われ、大会に向けて大いに盛り上がりました。



◀侍大将尼子勝紀の号令で「エイエイオー」と勝ち関（どき）を上げました。

このマークの記事は、関連写真を「市公式フェイスブック」で公開しています。

河井寛次郎と安来！



▲寛次郎愛用の品々がずらり。企画展は12月21日まで開催します。（詳しくは23ページ）

10月23日から安来市加納美術館で、河井寛次郎没後60年を記念した企画展「河井寛次郎と安来！」を開催しています。寛次郎とふるさと安来の関わりに注目した企画展です。

会場では、寛次郎のエッセイ「六十年前の今」に描かれた市内の風景を撮影した写真展や、戦時中に作品を疎開させた一燈園（京都市）の寛次郎コレクション展を開催。また、寛次郎の意思を受け継ぐ市内工芸作家の手仕事も紹介しています。寛次郎と安来の深い縁に触れてみませんか。

家族で挑戦！ゴズ釣り

10月４日、荒島地区交通防犯対策協議会が主催する「荒島地区 青少年健全育成 親子ゴズ釣り大会」が行われました。家族で協力して釣りを楽しみ、会話を通して絆を深めようと企画されたもので、今回で43回目を迎えました。

当日は、多くの親子連れが参加し、ゴズやセイゴなどが釣り上げられました。あちこちで「お父さん」と呼ぶ声があがるなど、親子で協力しながら挑戦。地域の人たちも見守る中、和やかなひとときを過ごしました。



▲天候にも恵まれ、穏やかな時間の中で釣りを楽しみました。

しまね和牛の頂点に



▲10月28日に市役所を訪れ、田中市長に受賞を報告しました。

10月24日、島根県畜産共進会で、肉用種牛の部「子牛の区」に出品した柴田慎二さんの「ひやふくみ」号が、グランドチャンピオンに輝きました。

「ひやふくみ」号は来年８月に北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会（全共）（第３区）の候補牛にも選ばれています。全共では、牛の体貌や骨格のバランス、発育などが審査されます。

柴田さんは「全共に向けて、これからも日々の管理を丁寧に行い、欠点のない牛に育てていきたい」と意気込みを語りました。

酒造りを身近に

10月24日、広瀬町の吉田酒造で「蔵開き2026」が開催されました。普段は入ることのできない酒蔵を開放し、酒蔵や酒造りに親しんでもらおうと開かれたものです。

会場では、飲み比べや限定酒の販売のほか、鏡開きでの振る舞い酒などを実施。酒蔵案内では、鮮度や香りを保つため、搾った酒をすぐに瓶詰めし、冷蔵保存する工夫などが紹介されました。

来場者は、酒蔵ならではの催しを思い思いに楽しんでいました。



▲普段は入ることができない酒蔵で、酒造りの現場を見学しました。

相手の先を読む

10月25日、アルテピアで市総合文化祭将棋大会が行われました。参加者は棋力に応じてＡ級（有段者・上級者向け）とＢ級（初段・中級者向け）に分かれ、総当たりのリーグ戦で対局しました。

今大会では、持ち時間25分の「切れ負け」を採用。持ち時間を使い切ると、その時点で形勢に関係なく負けとなります。

対局中は、じっくり長考する人もいれば、相手の一手にすぐ応じる人も。参加者はそれぞれ得意の戦法を駆使し、熱戦を繰り広げました。



▲「粘りに粘って、どうにか優勝（きよたか）できたのでとてもうれしい」と優勝した三島斉天（きよたか）さん（手前左）

草刈りの負担を軽減



▲草刈機で管理する芝生地の一部は、グラウンドゴルフ場としても利用されています。

広瀬町の八幡町自治会が、宝くじの助成金で自走式草刈機３台を導入しました。今回活用した「コミュニティ助成事業」は、宝くじの収益を財源に地域活動を支援する制度です。

同自治会は、飯梨川の河川敷約400mを芝生地として管理しています。これまでは刈払機で草刈りを行っていましたが、住民の高齢化もあり、炎天下での作業が負担となっていました。新たな草刈機による負担軽減に加え、今後はイベントなどで芝生地の活用が増えることも期待されています。